

平成21年度第3四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成21年4月1日から平成21年12月31日まで

資料5-2

*百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	339万台	486万台	70%	348万台	△9万台	97%
引取時預託(後付預託を除く)	10万台	18万台	55%	30万台	△20万台	33%
合計(A)	349万台	504万台	69%	378万台	△29万台	92%

引取時預託(後付預託のみ)(B)	16万台	16万台	98%	14万台	1万台	109%
------------------	------	------	-----	------	-----	------

預託台数合計(A)+(B)	364万台	520万台	70%	392万台	△28万台	93%
---------------	-------	-------	-----	-------	-------	-----

(2)品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,610円	6,410円	200円	6,480円	130円
エアバッグ類	2,510円	2,470円	40円	2,470円	40円
フロン類	2,060円	2,060円	0円	2,070円	△10円
合計	11,180円	10,940円	240円	11,020円	160円

(3)品目別の装備率

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	95%	95%	0	91%	4
フロン類	97%	97%	0	95%	2

(4)金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	38,687百万円	54,539百万円	71%	40,615百万円	△1,928百万円	95%

情報管理預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	339万台	486万台	70%	348万台	△9万台	97%
引取時預託	10万台	18万台	55%	30万台	△20万台	33%
合計	349万台	504万台	69%	378万台	△29万台	92%

(2)金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	802百万円	1,159百万円	69%	869百万円	△67百万円	92%

預託金預り収入計

金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	39,489百万円	55,698百万円	71%	41,484百万円	△1,995百万円	95%

②特定資産運用収入-再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	7,804百万円	10,403百万円	75%	7,161百万円	643百万円	109%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は前年度までの預託実績を参考に69%としていたが、実績は70%となり、台数実績は予算想定を上回った。第3四半期において、予算想定107万台に対して実績121万台と予算想定を上回った。
○引取時預託台数(後付預託を除く)の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は前年度預託実績等を参考に75%としていたが、引取業者引取台数に対する引取時預託台数(後付預託を除く)の比率が予算想定を下回ったこと等により(第3四半期までの実績3%、年間予算想定5%)、実績は55%となり、台数実績は予算想定を下回った。
以上のとおり、新車時預託台数が第3四半期までの予算想定を上回ったことを主たる要因として、再資源化等預託金預り収入の進捗率は、第3四半期までの対年間予算想定進捗率70%を上回る71%となった。

《新車購入時預託台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成21年度	96万台	122万台	121万台		339万台
平成20年度	118万台	124万台	106万台	123万台	471万台

【前年度同期実績との比較】

○新車購入時預託
新車購入時預託台数は、前年度同期実績を下回った。
○引取時預託(後付預託を除く)
引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている。すなわち、引取時預託台数の比率が低下している。このため、引取時預託台数(後付預託を除く)は、前年度同期実績を下回った。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は前年度同期実績を下回った。

《第3四半期までの預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)》

	平成21年度3Q決算		平成21年度年間予算		平成20年度3Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,630円	5,810円	6,440円	5,800円	6,540円	5,760円
エアバッグ類	2,510円	2,080円	2,470円	2,160円	2,480円	2,050円
フロン類	2,060円	2,100円	2,060円	2,100円	2,060円	2,100円
合計	11,200円	9,990円	10,970円	10,060円	11,080円	9,910円

《第3四半期までの預託方法別の装備率》

	平成21年度3Q決算		平成21年度年間予算		平成20年度3Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	29%	97%	42%	97%	16%
フロン類	99%	32%	99%	28%	99%	38%

【予算との比較】

同上。

【前年度同期実績との比較】

同上。

【予算との比較】

予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

保有債券残高の積み上がりにより特定資産運用収入は前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成21年度3Q末残高	平成20年度3Q末残高
7,955億円	7,760億円

2. 事業活動支出

① 預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1) 品目別の払渡台数

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	276万台	360万台	77%	285万台	△9万台	97%
エアバッグ類	122万台	186万台	66%	99万台	23万台	123%
フロン類	228万台	303万台	75%	217万台	11万台	105%

(2) 品目別の平均単価

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)-(c)
ASR	6,190円	6,270円	△80円	6,130円	60円	
エアバッグ類	2,020円	2,100円	△80円	1,970円	50円	
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円	

(3) 金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	24,298百万円	32,809百万円	74%	23,952百万円	347百万円	101%

情報管理預託金払渡支出

(1) 台数

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	285万台	360万台	79%	290万台	△5万台	98%

(2) 金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	452百万円	590百万円	77%	533百万円	△81百万円	85%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	833百万円	1,106百万円	75%	477百万円	356百万円	175%

預託金払渡支出計

金額

	平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	25,583百万円	34,505百万円	74%	24,962百万円	622百万円	102%

《引取業者引取台数実績》

平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
289万台	360万台	80%	276万台	13万台	105%

【予算との比較】

各品目の払渡台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考にASR77%、エアバッグ類75%、フロン類77%とされていたが、各品目の実績はASR77%、エアバッグ類66%、フロン類75%となり、台数実績は予算想定を下回った。
(なお、エアバッグ類は、引取業者引取台数における装備率を年間予算想定54%としていたが、第3四半期までの実績は43%であったため、他の品目よりも対年間予算想定台数進捗率が低い。)
このため、再資源化等預託金払渡支出の進捗率は、第3四半期までの対年間予算想定進捗率76%を下回る74%となった。

【前年度同期実績との比較】

主としてエアバッグ類及びフロン類の払渡台数が前年度同期実績を上回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成21年度3Q		年間予算	平成20年度3Q
	決算(a)	(a)/(b)		
エアバッグ類	43%	54%	35%	
フロン類	82%	87%	77%	

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成21年度3Q				平成20年度3Q	
	決算		年間予算		決算	
	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率
130円	204万台	72%	238万台	66%	134万台	46%
230円	81万台	28%	122万台	34%	156万台	54%
合計	285万台	100%	360万台	100%	290万台	100%

【予算との比較】

○払渡台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考に78%としていたが、実績は79%となり、台数実績は予算想定を上回った。
○しかし、単価230円の払渡台数の比率が予算想定を下回った。
以上を要因として、情報管理預託金払渡支出の進捗率は、第3四半期までの対年間予算想定進捗率78%を下回る77%となった。

【前年度同期実績との比較】

○払渡台数は前年度同期実績を下回った。
○単価230円の払渡台数の比率が前年度同期実績を下回った。
以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を下回った。

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に76%としていたが、実績は75%となり、未払再資源化預託金等利息支払支出は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

平成21年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成20年度よりも高いため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率
適用利率	平成21年度払渡 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%
	平成20年度払渡 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成21年度3Q			平成20年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
58万台	118万台	49%	110万台	△52万台	53%

(2)平均単価

平成21年度3Q			平成20年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)	
10,700円	10,920円	△220円	10,760円	△60円	

(3)金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
6,185百万円	12,922百万円	48%	11,804百万円	△5,619百万円	52%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
186百万円	439百万円	42%	226百万円	△40百万円	82%

【予算との比較】

○輸出返還台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は前年度輸出返還実績等を参考に76%としていたが、実績は49%となり、台数実績は予算想定を下回った。
○輸出返還平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出の進捗率は、第3四半期までの対年間予算想定進捗率76%を下回る48%となった。

【前年度同期実績との比較】

輸出返還台数が前年度同期実績を下回ったため、再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を下回った。

《輸出返還台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成21年度	22万台	17万台	19万台		58万台
平成20年度	34万台	37万台	38万台	35万台	144万台

【予算との比較】

○未払再資源化預託金等利息支払支出の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、前年度輸出返還実績等を参考に76%としていたが、輸出返還台数が予算想定を下回ったことにより、実績は42%となり、利息を付す輸出返還台数は予算想定を下回った。
○利息の平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出の進捗率は第3四半期までの対年間予算想定進捗率76%を下回る42%となった。

《第3四半期までの預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成21年度3Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	10万台	15万台	66%
平成17年度	29万台	62万台	46%
平成18年度	15万台	34万台	44%
平成19年度	2.6万台	4万台	66%
平成20年度	0.7万台	1万台	61%
平成21年度	0.3万台	1万台	31%
合計	58万台	118万台	49%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《第3四半期までの利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

	平成21年度3Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
利息単価	324円	375円	86%

【前年度同期実績との比較】

平成21年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率は平成20年度よりも高いが、輸出返還台数が前年度同期実績を下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を下回った。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率
適用利率	平成21年度輸出返還 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%
	平成20年度輸出返還 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	-

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金輸出返還支出計

金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
6,372百万円	13,361百万円	48%	12,031百万円	△5,659百万円	53%

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
184百万円	184百万円	100%	303百万円	△120百万円	61%
(当初予算) (190百万円)					

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
6百万円	6百万円	100%	7百万円	△0百万円	94%
(当初予算) (-)					

他会計への繰入金支出計

金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
190百万円	190百万円	100%	310百万円	△120百万円	61%

《出えん実績》

出えん先	出えん額(※)	
	平成21年度3Q	平成20年度3Q
指定再資源化機関	160百万円	70百万円
情報管理センター	30百万円	240百万円
合計	190百万円	310百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。
(なお、会計規程第14条の規定に基づき、「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」の当初予算190百万円のうち、6百万円を「未払再資源化預託金等利息支払支出」の予算へ流用した。)

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
32,596百万円	48,259百万円	68%	37,202百万円	△4,606百万円	88%

【予算との比較】

特定資産取崩収入の第3四半期までの対年間予算進捗率は、事業活動支出の予算想定から76%としていたが、事業活動支出が予算想定を下回ったため、実績は68%となり、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

事業活動支出が前年度同期実績を下回ったため、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は前年度同期実績を下回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成21年度3Q			平成20年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
45,484百万円	66,213百万円	69%	51,407百万円	△5,923百万円	88%

【予算との比較】

特定資産取得支出の第3四半期までの対年間予算進捗率は、預託金預り収入等の予算想定から77%としていたが、主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が予算想定を下回ったため、実績は69%となり、特定資産取得支出は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が前年度同期実績を下回ったため、特定資産取得支出は前年度同期実績を下回った。